

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年4月8日 (2010.4.8)

【公開番号】特開2008-199280(P2008-199280A)
 【公開日】平成20年8月28日 (2008.8.28)
 【年通号数】公開・登録公報2008-034
 【出願番号】特願2007-32116(P2007-32116)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 1 0 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月23日 (2010.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アプリケーションを使用して画像データに対して処理を実行する画像処理装置であって

、

前記画像データに対する処理のパラメータを設定する設定手段と、

前記設定手段により設定されたパラメータを保存するパラメータ保存手段と、

前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータに従って、前記画像データに対する処理を実行する画像処理手段と、

前記アプリケーションの起動時に、前回のアプリケーションの終了が異常終了であったか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段による判定結果が異常終了である場合に、前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータを変更する変更手段と、備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記判定手段による判定結果が異常終了である場合に、前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータを変更するか否かを選択する選択手段をさらに備え、

前記選択手段により前記パラメータを変更することが選択された場合に、前記変更手段は、前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータを変更することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記アプリケーションが正常に終了するときに、フラグを異常終了であることを示す状態から異常終了でないことを示す状態へ更新する更新手段をさらに備え、

前記判定手段は、前記フラグに基づいて前記判定を行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記アプリケーションが異常終了した場合に前記パラメータ保存手段に保存されていたパラメータを示すリストを保存するリスト保存手段と、

前記設定手段により設定されたパラメータと前記リスト保存手段に保存されたリストに示されたパラメータとを比較する比較手段と、

前記比較手段による比較結果に従って、警告を表示する警告手段とをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記変更手段は、前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータをユーザ操作によって入力された値に変更することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

アプリケーションを使用して画像データに対して処理を実行する画像処理装置の制御方法であって、

前記画像データに対する処理のパラメータを設定する設定ステップと、

前記設定手段により設定されたパラメータを保存するパラメータ保存ステップと、

前記パラメータ保存ステップで保存されたパラメータに従って、前記画像データに対する処理を実行する画像処理ステップと、

前記アプリケーションの起動時に、前回のアプリケーションの終了が異常終了であったか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップでの判定結果が異常終了である場合に、前記パラメータ保存ステップで保存されたパラメータを変更する変更ステップと、を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 7】

アプリケーションを使用して画像データに対して処理を実行する画像処理装置を実現するコンピュータに、

前記画像データに対する処理のパラメータを設定する設定ステップと、

前記設定ステップで設定されたパラメータを保存するパラメータ保存ステップと、

前記パラメータ保存ステップで保存されたパラメータに従って、前記画像データに対する処理を実行する画像処理ステップと、

前記アプリケーションの起動時に、前回のアプリケーションの終了が異常終了であったか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップでの判定結果が異常終了である場合に、前記パラメータ保存ステップで保存されたパラメータを変更する変更ステップと、を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置、画像処理装置の制御方法及びプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、例えば、デジタルカメラにより撮影して得られたデジタル画像データを処理する画像処理装置、画像処理装置の制御方法及びプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

そこで、本発明は、異常終了を誘発する設定値を起動時に読み込まないようにして、起動時の異常終了を回避することができる画像処理装置、画像処理装置の制御方法及びプロ

グラムを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記目的を達成するために、本発明の画像処理装置は、アプリケーションを使用して画像データに対して処理を実行する画像処理装置であって、前記画像データに対する処理のパラメータを設定する設定手段と、前記設定手段により設定されたパラメータを保存するパラメータ保存手段と、前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータに従って、前記画像データに対する処理を実行する画像処理手段と、前記アプリケーションの起動時に、前回のアプリケーションの終了が異常終了であったか否かを判定する判定手段と、前記判定手段による判定結果が異常終了である場合に、前記パラメータ保存手段により保存されたパラメータを変更する変更手段と、備えることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】